

横浜市医師会ラジオ講座

小児救急について 第1回

港南台こどもクリニック

院長 たかはし 高橋 あきたか 亨岳

小児救急とは？

- 子どもは体調の変化が早ため速やかな対応が必要
- 特に乳幼児は症状が急激に悪化することもある
- 緊急時は夜間や休日でも小児救急を受診できる
- 夜間休日診療所や基幹病院の救急外来など

まずはかかりつけ医を

- 体調不良すべてが緊急ではない
- 風邪や胃腸炎などは自然に回復することも多い
- まずは日中にかかりつけ医を受診
- 診断や今後の見通し、対応の説明を受ける

夜間・休日の不安

- 症状が急に悪化した、想定外の症状が起きた
- いますぐ病院を受診するべきか、迷う
- 「意識」「循環」「呼吸」に注目！

意識・循環・呼吸

- 意識 = 刺激への反応 元気 発言や行動
- 循環 = 顔色 手足の温かさ 排尿の有無
- 呼吸 = 顔色 息苦しさ

急いで受診 観察が大切

- けいれん 意識がおかしい
- 顔色が悪い ぐったり 手足が冷たい
- 呼吸が苦しそう 咳が全く止まらない
- 嘔吐が止まらない